

<ポイント版> ぎふ経済レポート（平成 29 年 3 月分）

【景況感】

景気は一部に弱さが見られるものの、緩やかに回復しつつある。

【製造業】生産、受注は持ち直しの動きが見えはじめている

○製造業は、一部の業種で生産の弱含みが見られるものの、輸送機械（主に自動車産業）は昨年来堅調に推移しており、はん用機械や電気機械にも持ち直しの動きが見られ、全体としては上げ下げを繰り返しながらも持ち直しを見せている。

【地場産業】一部に生産の持ち直しが見えはじめている

○地場産業は、依然として消費マインドの減退や海外製品との競合、昨秋からの円安による原材料費高騰など厳しい状況が続く中、一部に生産の持ち直しが見えはじめている。

【個人消費】消費は持ち直しの動きが見えはじめている

○個人消費は、大型小売店等の売上前年比増減率が足下、プラス圏で推移しており、新車販売台数についても持ち直しの動きが継続している。但し、実質賃金の増加への期待が乏しいことから節約志向が続き、長期的にみると消費回復への足取りは重い。

【観光】観光客数、宿泊客数はともに減少している

○観光は、日の並びの関係で休日の数が前年より少なく、観光地、宿泊施設ともに減少となった。

【雇用】雇用情勢は引き続き良好な状態を維持している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、全国と比べても良好な数値であり、総じて県内の雇用情勢は良好といえる。但し、多くの業種では人手不足感が拡大するとともに、業種間における求職と求人のミスマッチも今後の課題である。

【設備投資】投資実績は底堅く推移するとともに、投資意欲も改善している

○設備投資の実施は、若干減少したものの、底堅く推移しており、設備投資意欲も改善傾向にある。設備投資の目的は、依然として工場・機械等の「補修・更新」がメインとなっており、「生産能力拡大・売上増」、「合理化・省力化」といった前向きな設備投資が減少している。

【資金繰り】資金繰りは悪化傾向が継続、借入難易感も改善している

○企業の資金繰りは、製造業で改善が見られるが、全体としては昨年年央から悪化傾向が継続している。借入難易感も、製造業・非製造業ともに改善している。